

# 環の拠点創出事業 第2回準備委員会

---

木津川市環の拠点創出事業準備委員会事務局  
平成25年3月27日－第2回委員会

# 委員会の主な検討事項

※第1回委員会資料から

議題	内容	時期(予定)
施設選定	どこに拠点を整備するの (利便性、安全性、実現性、経済性)	第2回
設置方法	どのような方法で設置するの (購入or賃貸、設置主体)	第2回
導入機能	どのような機能を組み込むの (トイレなどの設備面、お茶提供などのソフト面)	第2回、第3回
運営主体	誰が運営するの (単一組織or実行委員会、構成員)	第3回
運営手法	どのような方式で運営するの (施設貸付、運営委託、民設民営)	第3回
広報戦略	どのような方法でPRするの (利用可能な広報媒体、イベント)	第3回、第4回
設置財源	設置財源は誰が負担するの (関係者の負担、国・府の補助金等、市)	第4回
運営財源	運営費は誰が負担するの (採算性、外部資金)	第4回

※必要に応じて第5回を開催

# 第1回準備委員会現地視察結果

日 時	平成25年2月14日(木)午後3時30分～(概ね1時間)
コース	木津川市役所～奈良街道(木津本町通り)～府道京都八幡木津自転車道線(終点泉大橋左岸)～泉大橋～茶業の碑～茶問屋ストリート～旧道石碑～山城支所(JA倉庫)～木津川市役所
目的	委員のみなさんに上狹南部地域の現状として、お茶の香りや歴史的な街並みを実感いただき、当該地域において環の拠点となる場所や拠点の内容等について意見をいただいた。

## ■主な視察時における意見

1. 拠点としてはJA倉庫が望ましい。(山城支所との複合的活用)
2. 茶業の碑の周辺は景観が良い。
3. 自転車道起終点が呆気なさすぎる。周辺の案内看板や標識が不可欠である。  
また、拠点内にも来場者向けの案内地図看板が必要である。
4. 拠点の休憩所では、お茶の接待があればよい。それを広くPRすることが重要である。
5. 美味しいものがないと人は集まらない。お茶以外の何かが必要である。
6. 視察コースをサイクリストが自転車で走行することは厳しい。
7. サイクリストをターゲットの中心としたサービスの提供が必要である。(自転車洗車場所他)

# 自転車利用者アンケートの内容

※第1回委員会資料から

項目	【】はアンケートの問番号	理由・活用方法
活動頻度 (サイクリングに出かける頻度【1】、自転車道の利用頻度【2】)		需要調査 (来場者予測)
行程 (目的地【3】、休憩地【4】、利用施設【5・6】)		範囲設定 (広報範囲、モデル施設)
利用意向 (施設の必要性【7】、位置の妥当性【8】)		需要調査 (他地域への応用)
導入機能 (施設【9】、設備【9】、サービス【10】)		導入機能選定 (施設整備の優先順位)
サイクリングコースの設定要素 (コース特性【11】、付加価値【11】)		利用促進策 (モデルコース設定)
情報取得ツール (何からサイクリング情報を取得されているか【12】)		広報戦略 (広報媒体の優先順位)
消費額 (1行程の予算【13】)		観光消費額調査 (収支計算)
属性(フェイスシート) (性別【14】、年齢【15】、利用歴【16】、自転車の種類【17】)		顧客特性 (クロス集計)

# 自転車利用者アンケートの概要

## ■アンケートの目的

自転車利用者のニーズを調査し、拠点施設の導入機能や広報戦略の検討資料とする。

## ■配布方法等について

アンケートは、自転車道を走行している方と木津川サイクリング俱楽部が行った初心者講習会の参加者を対象として実施した。

なお、自転車道を走行している方には自転車道配布用を、また初心者講習会の方には団体等配布用を用いた。

	自転車道利用者	初心者講習会 (木津川サイクリング俱楽部)
実施日	平成25年3月9日(土)	平成25年2月24日(日)
実施場所	府道京都八幡木津自転車道線 上津屋橋(流れ橋)休憩所	アスピアやましろ
配布数 ・回収数	100人	28人
配布方法	休憩している方に配布・回収	講習会参加者に配布・回収



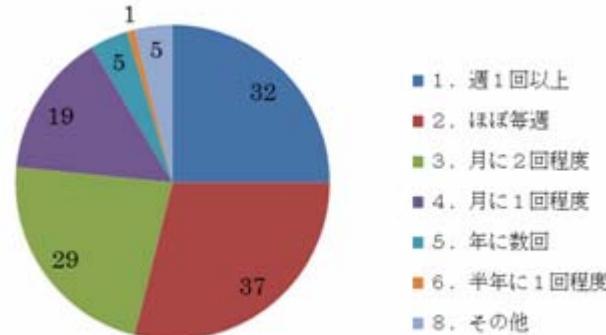
【府道京都八幡木津自転車道線】 道路延長／約45キロメートル

嵐山(渡月橋) ←(約25km)→ 上津屋橋(流れ橋) ←(約20km)→ 泉大橋

# 自転車利用者アンケート結果①

問1-1 どれくらいの頻度でサイクリングに出かけていますか。

- 約3割の方が、ほぼ毎週サイクリングをおこなっており、週1回以上・月に2回程度を合わせると、約8割を占める。



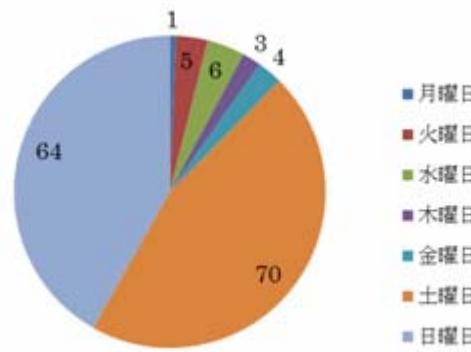
選択肢	回答数	割合
1. 週1回以上	32	25%
2. ほぼ毎週	37	29%
3. 月に2回程度	29	23%
4. 月に1回程度	19	15%
5. 年に数回	5	4%
6. 半年に1回程度	1	1%
7. 年に1回程度	0	0%
8. その他	5	4%
合計	128	100%

「8. その他」の記載内容

・ほぼ毎日      ・晴日は毎日      ・毎日

問1-2 よく出かけられる曜日はいつですか。 (複数回答)

- 土曜日・日曜日で約9割を占める。



選択肢	回答数	割合
月曜日	1	1%
火曜日	5	3%
水曜日	6	4%
木曜日	3	2%
金曜日	4	3%
土曜日	70	46%
日曜日	64	42%
合計	153	100%

# 自転車利用者アンケート結果②

問3-2 よく行かれる目的地はどこですか。 (複数回答)

- 府道京都八幡木津自転車道線でアンケートを行ったこともあり、嵐山・上津屋橋が約3割を占めた。
- 木津を目的地とした方は約1割であった。

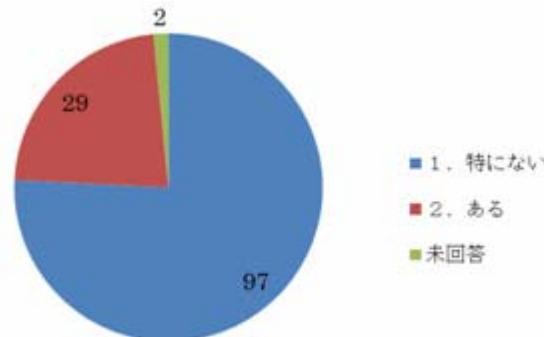
2人以上の回答があった目的地	1人から回答のあった目的地
嵐山	けいはんなホテル（精華町）
上津屋橋（流れ橋）	けいはんな記念公園（精華町）
木津 ※木津川市(1)含む	当尾（木津川市）
八幡市 ※御幸橋(2)含む	三国超林道（和束町～伊賀市）
奈良市	大正池（井手町）
信楽	くろんど池（交野市・生駒市）
和束町	京都市、京都大原、大和郡山市、吉野町
京田辺市 ※京田辺市運動公園(1)含む	枚方市、門真市、淀川、藤井寺市、金剛山
明日香村	天野原、和歌山県
滋賀県 ※琵琶湖(1)含む	(地名・施設名以外) パン屋、直売所、歴史跡巡り
大阪市	日帰り圏内どこでも、自然との触れ合い

計78件

# 自転車利用者アンケート結果③

問6 普段、サイクリングでよくご利用される施設はありますか。

- ・特定の利用施設がない方が7割以上であった。
- ・コンビニを利用している方が最も多い。



選択肢	回答数	割合
1. 特にない	97	76%
2. ある	29	23%
未回答	2	2%
合計	128	100%

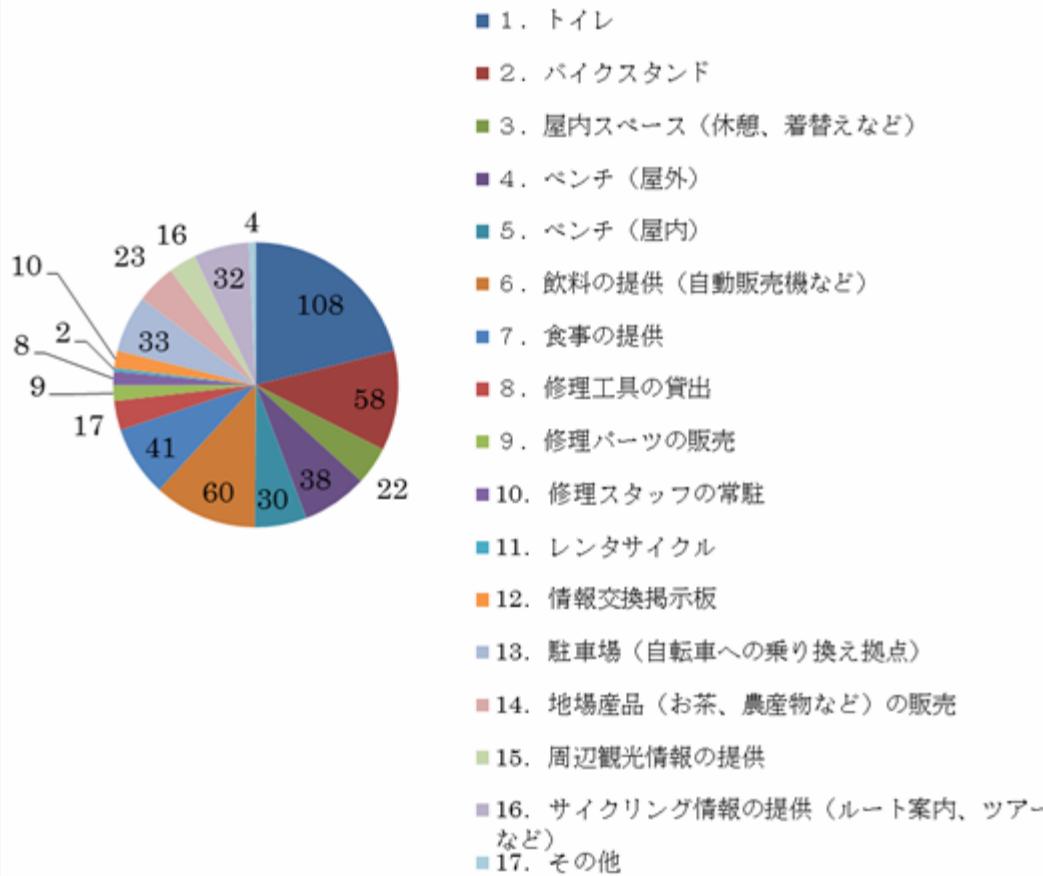
2人以上の回答があった施設名	1人から回答のあった施設名
コンビニ	イオン高の原、アスピア山城、
トイレ	四季彩館（八幡市）、御幸橋付近のコンビニ、
スーパー	京田辺市、けいはんなプラザ（精華町）、
道の駅等	淀川、関西医大の休憩所（枚方市）
上津屋橋（流れ橋）	雨つゆをしのげる場所
公園	

計35件

# 自転車利用者アンケート結果④

問9 拠点施設の機能として、何が特に必要だと思いますか。（複数回答）

- 回答者数128人に対し、トイレを選択した方が108人と約8割を占めた。
- トイレ以外で、回答者数の3割以上が選択した機能としては、飲料の提供（60人）・バイクスタンド（58人）・食事の提供（41人）・屋外ベンチ（38人）であった。

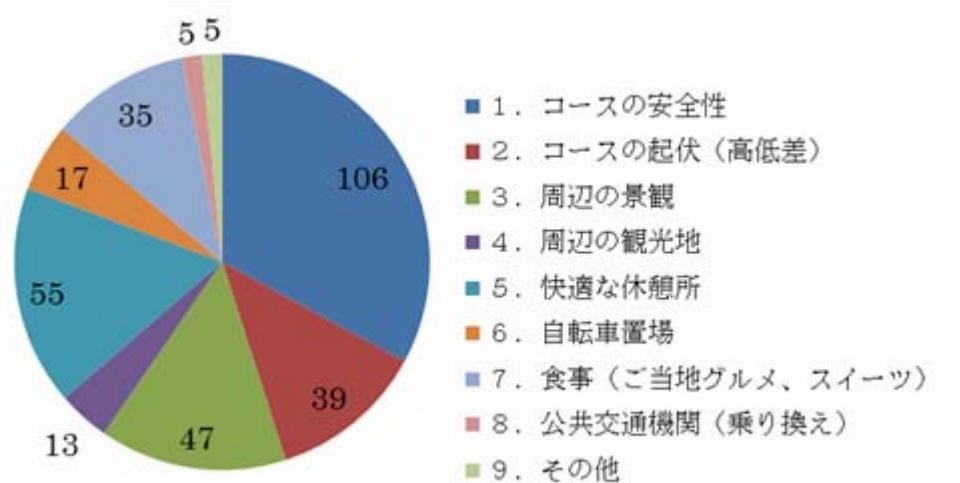


選択肢	回答数	割合
1. トイレ	108	21%
2. バイクスタンド	58	11%
3. 屋内スペース (休憩、着替えなど)	22	4%
4. ベンチ(屋外)	38	7%
5. ベンチ(屋内)	30	6%
6. 飲料の提供 (自動販売機など)	60	12%
7. 食事の提供	41	8%
8. 修理工具の貸出	17	3%
9. 修理パーツの販売	9	2%
10. 修理スタッフの常駐	8	2%
11. レンタサイクル	2	0%
12. 情報交換掲示板	10	2%
13. 駐車場 (自転車への乗り換え拠点)	7	1%
14. 地場産品 (お茶、農産物など) の販売	4	1%
15. 周辺観光情報の提供	2	0%
16. サイクリング情報の提供 (ルート案内、ツアーなど)	1	0%
17. その他	1	0%
合計	511	100%

# 自転車利用者アンケート結果⑤

問11 サイクリングコースを考える上で重視していることは何ですか。 (複数回答)

- 回答者数128人に対し、コースの安全性を選択した方が106人と約8割を占めた。
- コースの安全性以外で、回答者数の約3割が選択した項目は、快適な休憩所(55人)・周辺の景観(47人)・コースの起伏(39人)・食事(35人)であった。

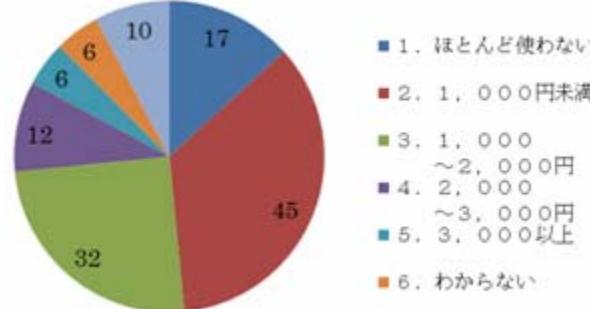


選択肢	回答数	割合
1. コースの安全性	106	33%
2. コースの起伏(高低差)	39	12%
3. 周辺の景観	47	15%
4. 周辺の観光地	13	4%
5. 快適な休憩所	55	17%
6. 自転車置場	17	5%
7. 食事（ご当地グルメ、スイーツ）	35	11%
8. 公共交通機関（乗り換え）	5	2%
9. その他	5	2%
合計	322	100%

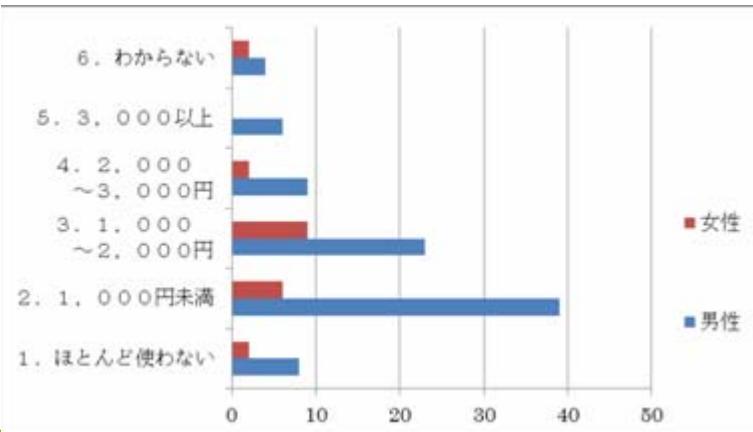
# 自転車利用者アンケート結果⑥

## 問13 サイクリング1回の予算はどの程度ですか。

- ・1,000円未満が最も多く、2,000円未満が約7割を占めた。
- ・3,000円以上使う方は、全体の5%に過ぎなかった。
- ・男女別では、男性が1,000円未満が最も多く、女性は1,000～2,000円でした。



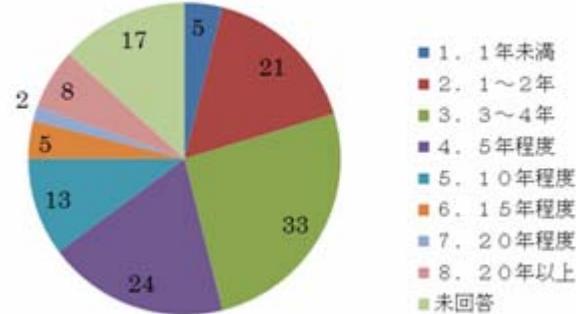
選択肢	回答数	割合
1. ほとんど使わない	17	13%
2. 1,000円未満	45	35%
3. 1,000～2,000円	32	25%
4. 2,000～3,000円	12	9%
5. 3,000以上	6	5%
6. わからない	6	5%
未回答	10	8%
合計	128	100%



# 自転車利用者アンケート結果⑦

問17 あなたのサイクリング歴を教えてください。いずれかに○を付けてください。

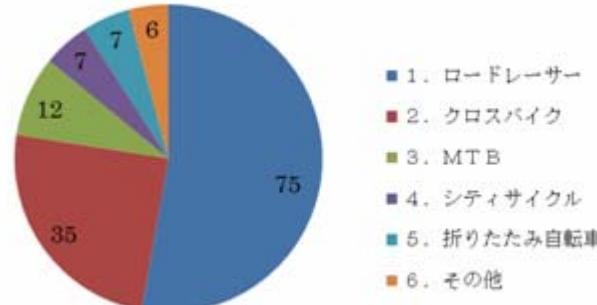
- ・5年以下の方が約8割を占める。



選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	5	4%
2. 1~2年	21	16%
3. 3~4年	33	26%
4. 5年程度	24	19%
5. 10年程度	13	10%
6. 15年程度	5	4%
7. 20年程度	2	2%
8. 20年以上	8	6%
未回答	17	13%
合計	128	100%

問18 普段、使用されている自転車のタイプはどれですか。（複数回答）

- ・回答者数128人に対し、ロードレーサーを使用している方が75人と約6割を占めた。
- ・ロードレーサーとクロスバイクの利用者が全体の約8割を占めた。



選択肢	回答数	割合
1. ロードレーサー	75	53%
2. クロスバイク	35	25%
3. MTB	12	8%
4. シティサイクル	7	5%
5. 折りたたみ自転車	7	5%
6. その他	6	4%
合計	142	100%

「6. その他」の記載内容

- ・ランドナー
- ・ミニベロ
- ・持っていない
- ・トラックレース用改造
- ・電動自転車

# 施設選定について①

～どこに拠点を整備するのか(利便性、安全性、実現性、経済性)～



## 拠点施設について



(JA倉庫)  
面積  
約165m<sup>2</sup>  
建築年度  
不詳

## ポイント

- 自転車道終点から約1,300mに立地している。
- アンケートで休憩・昼食箇所として回答が多かったコンビニが近くにある。
- 周辺にパン屋・自動販売機の設置がある。
- 国道を挟みコミュニティカフェがある。
- トイレ活用は支所が可能である。
- 近接した箇所に市の駐車場があり、駐車場は国道に隣接している。
- 上狛駅が約400mに立地している。

# 施設選定について②

～どこに拠点を整備するのか(利便性、安全性、実現性、経済性)～

## JA倉庫 現況



全景



内部



山城支所との境界



# 施設選定について③

～どこに拠点を整備するのか(利便性、安全性、実現性、経済性)～

## JA倉庫 現況

面 積: 約165m<sup>2</sup>

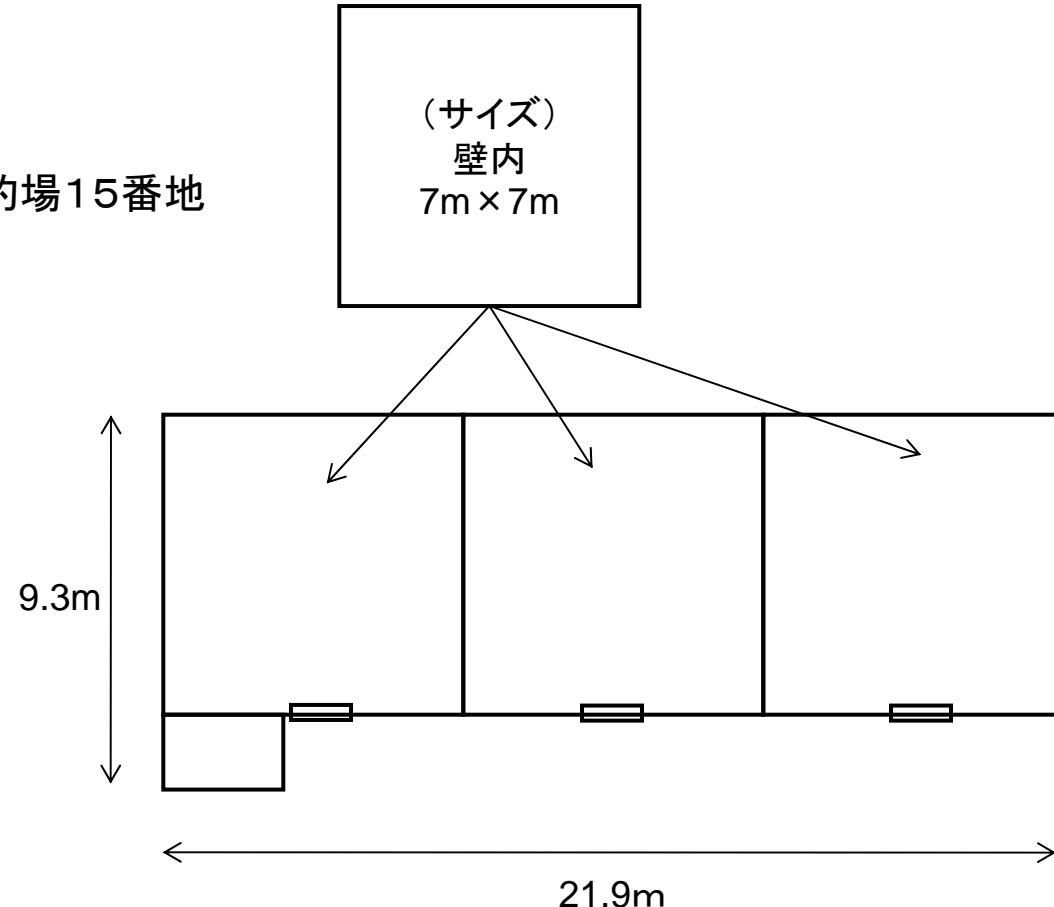
建築年度: 不詳

地番: 木津川市山城町上狛北的場15番地



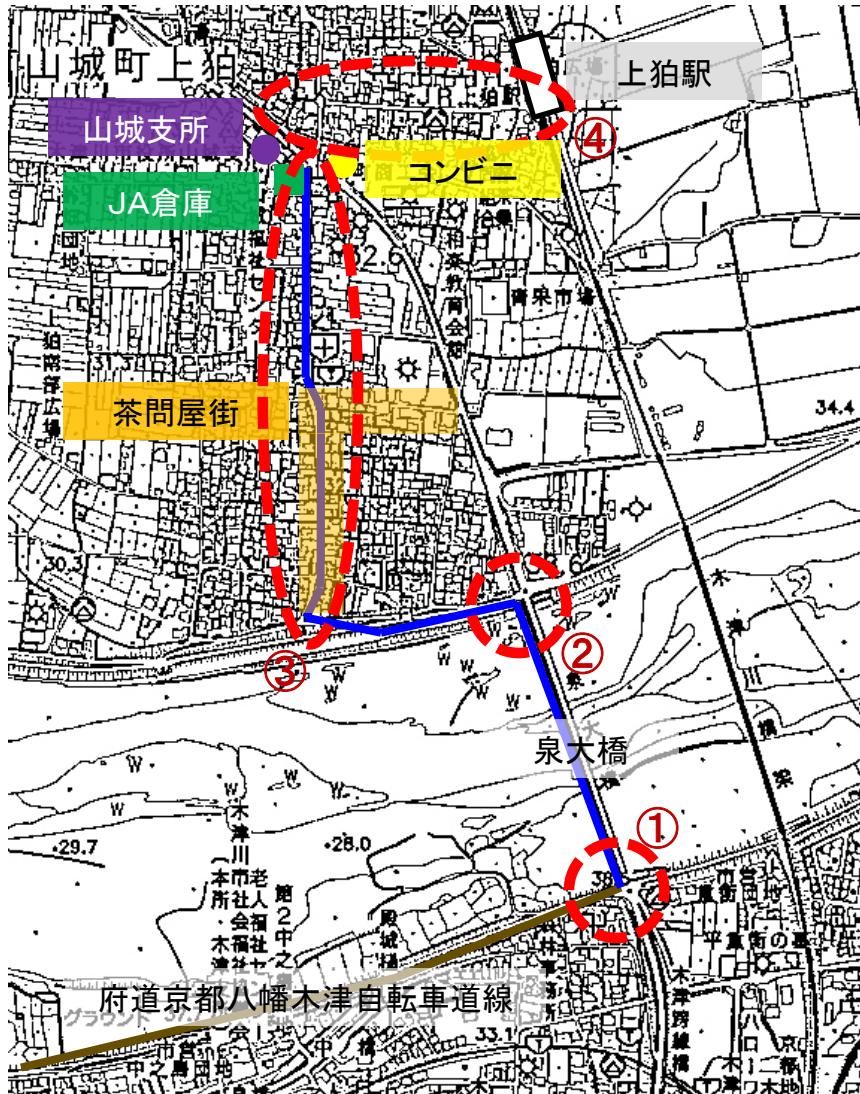
全景

(サイズ)  
壁内  
 $7m \times 7m$



# 施設選定について④

～どこに拠点を整備するのか(利便性、安全性、実現性、経済性)～



## 安全性

### ①自転車道終点～泉大橋横断

国道と堤防沿い道路は両方向の通行が多い。  
歩行者と自転車は車道と分離。



### ②泉大橋～木津川堤防

堤防を利用する車が多く、自転車利用者は、泉大橋から堤防沿いへ左折する際は、膨らまないように、十分な減速が必要。



### ③茶問屋街周辺～JA倉庫

住民の歩行や、路地も多く、周辺景観を楽しめるよう、ゆるやかな走行が必要。



### ④上狛駅周辺～JA倉庫

住民の歩行が多く、周辺景観を楽しめるよう、ゆるやかな走行が必要。



# 施設選定について⑤

～どこに拠点を整備するのか(利便性、安全性、実現性、経済性)～



## 経済性

(アンケート結果から)

- 目的地として、木津と答えた人は約1割であった。(問3-2)
- 1回あたりの予算として、2,000円未満が全体の約7割を占めた。(問13)
- サイクリングコースで重視していることは、「コースの安全性」が約3割であった。(問11)
- 自転車のタイプは、ロードレーサー・クロスバイクの利用者が全体の約8割を占めた。(問18)



- 自転車利用者を誘導していく。
- シティサイクルに乗っている方など、近距離地域間交流を図っていく。

■アンケート配布時状況  
上津屋橋(ながれ橋休憩所)  
配布時間:8:30~13:30

○約5時間の配布時間中の自転車利用者は、目測で約500台であった。

○最も利用者数が多かった時間帯は9時~10時で、目測で約100台超であった。

○アンケートを行った休憩所及び四季彩館の利用者は、目測で約1/3であった。

○休憩所と四季彩館の利用者割合は、休憩所利用の方が多かった。

# 設置方法について①

～どのような方法で設置するのか(購入or賃貸、設置主体)～



## 【所有者等について】

土地・建物の所有者:京都やましろ農業協同組合

土地・建物の使用者:木津川市山城町商工会

## 【蔵の使い方について】

① 商工会倉庫	② 空き	③ 空き
入口	入口	入口

木津川アート2011の会場としても活用



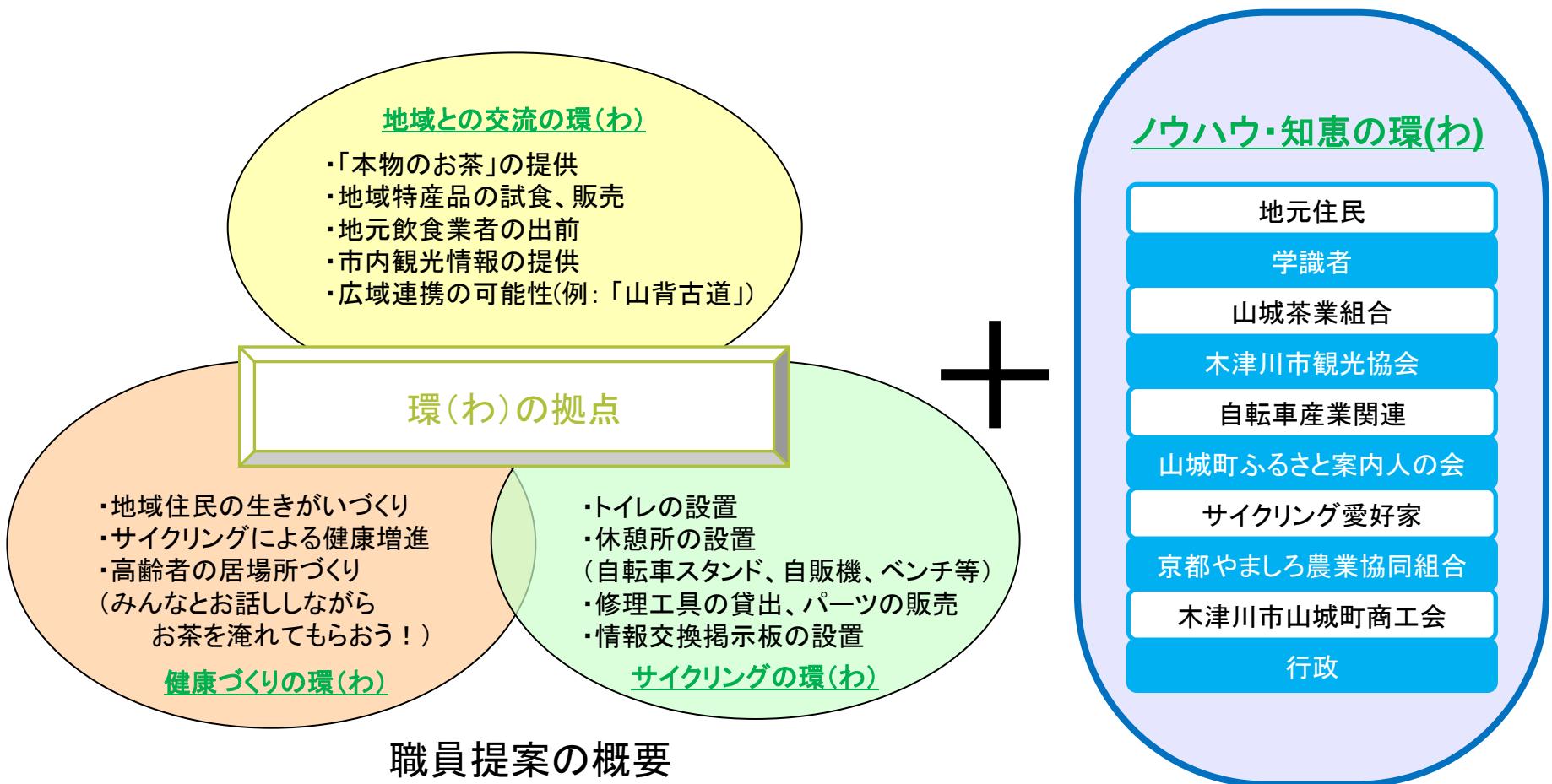
井口 智広さんの作品「2011.11.3 釘跡」



ボランティア等による清掃作業

# 設置方法について②

～どのような方法で設置するのか(購入or賃貸、設置主体)～



# 導入機能について

～どのような機能を組み込むのか(トイレなどの設備面、お茶提供などのソフト面)～

## 自転車利用者アンケート結果から

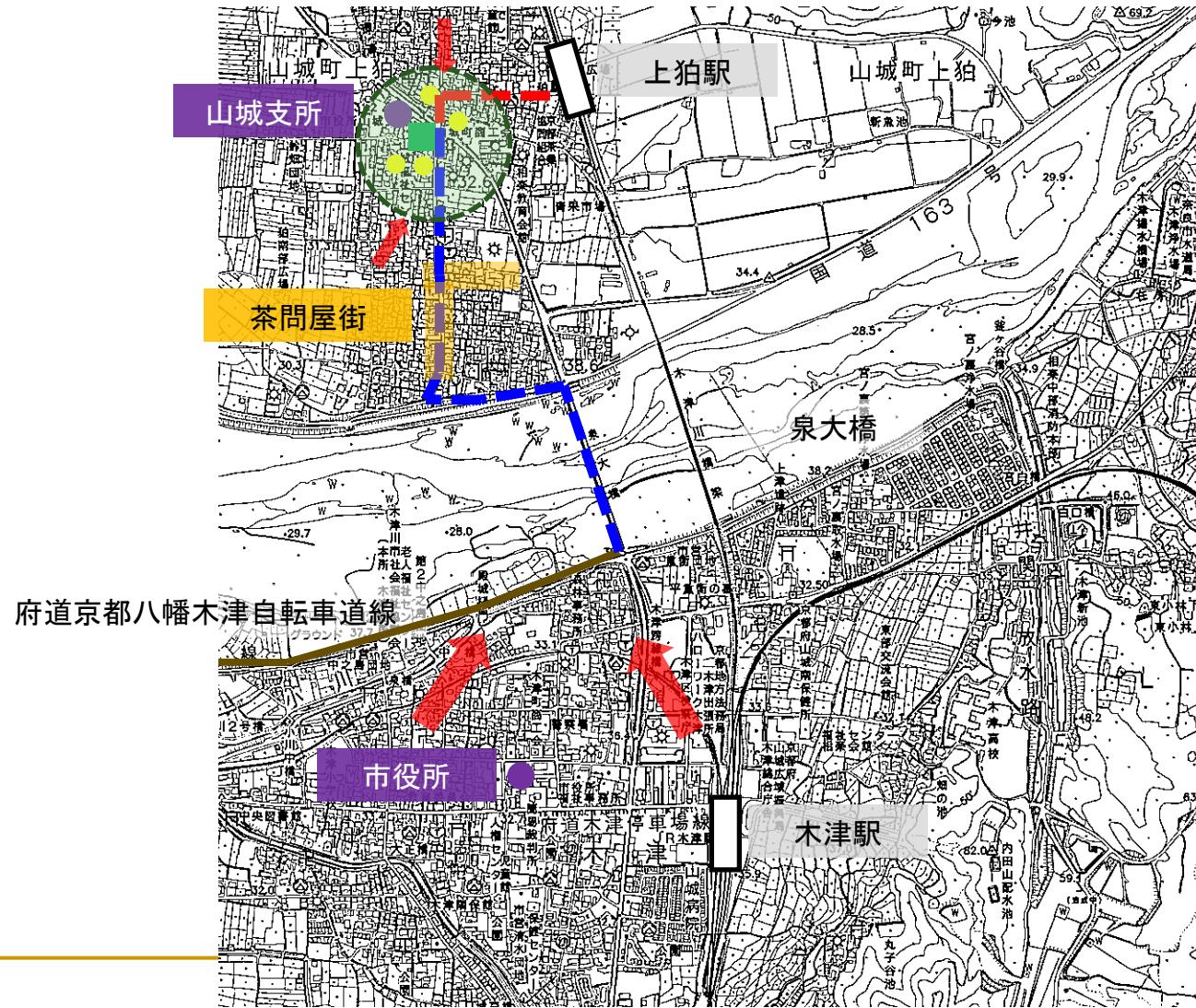
### ■拠点施設の機能として必要と思うものについて。(問9)

アンケートの順位 (複数回答)	① トイレ	108件	21%
全回答数 511件	② 飲料の提供(自動販売機など)	60件	12%
	③ バイクスタンド	58件	11%
	④ 食事の提供	41件	8%
	⑤ ベンチ(屋外)	38件	7%
	⑥ 駐車場(自転車への乗り換え拠点)	33件	6%
	⑦ サイクリング情報の提供(ルート案内、ツアーノ)	32件	6%
	⑧ ベンチ(屋内)	30件	6%
	⑨ 地場産品(お茶、農産物など)の販売	23件	5%
	⑩ 屋内スペース(休憩、着替えなど)	22件	4%

### ■設置した拠点施設の利用について。(問8)

- ・ぜひ利用したい・ときには利用したいを合わせると約8割を占める。
- ・施設の内容によると答えた方が約1割。

# 施設設置箇所イメージについて



# 委員会のスケジュール

	H24.12	H25.1	H25.2	H25.3	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10
委員会			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	中間答申		第6回	答申
市民等				自転車利用者アンケート							
事務局		委員ヒアリング	アンケート準備	アンケート集計				中間案政策会議	パブコメ広報準備	パブコメ集計	事業計画政策会議
その他	条例・予算成立										事業予算編成